

2022年12月6日

**東邦銀行×JA Fukushima未来連携プロジェクト**  
**～第2弾 新型コロナウイルスの影響を受ける県内事業者応援企画～**  
**JA Fukushima未来における「とうほうマルシェ」掲載商品の販売について**

東邦銀行（頭取 佐藤 稔）は、JA Fukushima未来（代表理事組合長 数又 清市）と連携した取り組みを始めましたので、お知らせします。

当行とJA Fukushima未来は、地域貢献を考える組織連携プロジェクト「ピーチコラボレーション」を立ち上げ、金融機関向けITソリューションを手掛けるNTTデータルウィーブ株式会社（代表取締役社長 三宅 信一郎）の仲介のもと、両組織の若手職員による意見交換を重ねて参りました。

前回、2022年9月に第1弾企画として実施した「降雹被害梨の応援販売」に続き、プロジェクト第2弾の取り組みとして、当行お取引先の商品をJA Fukushima未来役職員が購入し応援する企画を開始しました。お取引先の商品を当行役職員が積極的に購入するお客さま応援運動「とうほうマルシェ」に掲載の商品を、JA Fukushima未来役職員が購入することで、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受ける事業者を応援します。

今後も両組織が連携して地域の皆さまのお役に立つ取組みに努めてまいります。

記

**1. 本件企画概要**

とうほうマルシェ 概要	当行お取引先の商品を当行役職員が積極的に購入し消費購買面からお取引先の事業回復（売上）を応援する運動。 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受ける事業者支援として2020年10月より実施。
本企画の 開催目的	「とうほうマルシェ」掲載商品をJA Fukushima未来にて販売することで、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受ける事業者を応援するもの。
対象商品	「とうほうマルシェ」掲載商品の内、JA Fukushima未来が選定した商品。 (商品例) お菓子（ケーキ・和菓子）、ラーメン、ワイン、アウトドア雑貨
実施期間	2022年12月5日（月）～2022年12月9日（金）
購入者	JA Fukushima未来役職員

**2. 「ピーチコラボレーション」プロジェクト概要**

プロジェクト名	「ピーチコラボレーション」 人と人とのつながりと事業展開の道筋を意味する（ <b>People network and channel</b> ）と、福島県を代表する桃（ <b>Peach</b> ）とを掛け合わせて命名。
目的	福島県を拠点とする当行とJA Fukushima未来の両組織が業務連携を通して、地域社会へ貢献する活動を企画・実施するもの。 メンバーは、20代～40代の若手職員で構成。
プロジェクト発足日	2021年11月4日

### 「JA ふくしま未来（ふくしま未来農業協同組合）」概要

- ・福島県北地域（福島市・伊達市・二本松市・本宮市・川俣町・国見町・桑折町・大玉村）と相馬地域（相馬市・南相馬市・新地町・飯館村）の12市町村を管轄する広域JA。
- ・総資産8,330億円、支店数62支店、組合員数約94,000人（2022年2月末現在）を誇る。

### 「NTT データルウィーブ株式会社」企業概要

- ・1961年9月設立。大手金融機関向け決済システム、SWIFT、AMLソリューションや、全国JA向け窓口端末機、ATM、事務集中システム、RPA、AI、IoTなどの領域における新しいサービスの提案等を手掛けるIT企業。

### 3. 取扱開始日時

2022年12月5日（月）

### 4. 関連するSDGs



東邦銀行グループでは、『とうほうSDGs宣言』を制定し、グループ全体で地域経済の活性化や社会的課題の解決に向けた取組みを通して“地域社会に貢献する会社へ”を目指しています。

以上

# 東邦銀行